

第 14 回全国大会の開催にあたり GIGA スクール時代における情報科教育の役割

昨年度に引き続き、2021 年度も新型コロナウイルス感染症拡大に歯止めがかからず、教育界や産業界など各方面において大きな影響を受け続けています。各学会が主催する研究会や全国大会では、まだまだオンラインを中心に開催されるケースが多いと聞き及んでいます。この度の日本情報科教育学会 (JAEIS) 第 14 回全国大会も、その影響を受けまして、2 年連続でオンラインによる開催をする運びとなりました。大会の運営に携わっている学会関係者の皆さまには、全国大会オンライン開催で準備が大変であるにも関わらず、色々と柔軟に準備を進めていただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、GIGA スクール構想により、本年度より小中学校における 1 人 1 台端末及び高速大容量の通信環境下での学びが本格的にスタートします。さらに、新学習指導要領では、情報活用能力が、言語能力と同様に学習の基盤となる資質・能力として位置づけられました。子どもたちがいつでもどこでも 1 人 1 台端末を活用することにより、教科等における主体的・対話的で深い学びにおける効率的・効果的な ICT 活用に加え、子どもたちの情報活用能力も向上します。すなわち基本的な操作、問題解決・探求における情報活用、プログラミング、情報モラル・情報セキュリティ等の情報活用能力を身につけた子どもたちが高等学校に進学してきます。また、高等学校においても、1 人 1 台端末の決定あるいは検討している自治体があるなど、1 人 1 台端末の導入の動きが始まっています。

このような背景から、本大会では「GIGA スクール時代における情報科教育の役割」というテーマを掲げました。小学校・中学校・高等学校を通した縦断的な視点から、また高等学校の教科等の横断的な視点から情報科教育の果たす役割について議論し、さらには 1 人 1 台 ICT 環境での情報科の新しい学びについても様々な知見を相互に意見交換することを目的にしています。

基調講演では、西野和典会長 (太成学院大学 教授) からご講演をいただきます。また、招待講演では、田崎丈晴調査官 (文部科学省初等中等教育局参事官 (高等学校担当) 付産業教育振興室教科調査官、文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課情報教育振興室教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官) からご講演をいただきます。

本大会では、はじめての試みとして企画セッションを設けました。JAEIS 教員養成・研修委員会、および、教材研究・教育実践委員会より、それぞれの立場から皆さまにとって有益になるような企画を立てて頂きました。多様な観点から、情報科教育に関わる教員の在り方や実践的な教材・教育方法等についての議論を深めてください。

その後のパネルディスカッションでは、パネリストに林一真教諭 (名古屋市立白水小学校、名古屋市公立学校指導員 (情報教育担当))、青山陽介教諭 (春日井市立岩成台中学校)、長江一範教諭 (福岡県立糸島高等学校)、鹿野利春教授 (京都精華大学メディア表現学部) の 4 名をお招きし、「1 人 1 台端末時代における情報科教育の役割と可能性」をテーマとして議論を行う予定です。本大会のテーマと合致したこのテーマは、本大会の趣意に関する皆さまの知見をより深め、今後の情報科教育に活かしていただきたいという思いが込められています。

2 年連続のオンライン開催となりますが、2021 年 7 月 3 日 (土)・4 日 (日) が、皆さまにとって充実した 2 日間となることを祈念しています。

日本情報科教育学会全国大会企画委員長
浅羽修丈 (北九州市立大学)

2021 年 6 月吉日